

平成27年3月期  
決算補足説明資料  
(連結)

平成27年5月20日

# 目次

## 平成27年3月期 連結業績

課題と事業展開	… 3
目指すべきビジネスモデル	… 4
損益計算書	… 5
サービス別売上高	… 6
営業費用	… 7
損益計算書(四半期推移)	… 8
サービス別売上高(四半期推移)	… 9
営業費用(四半期推移)	…10
貸借対照表	…11
キャッシュ・フロー	…12

## 平成28年3月期 連結業績予想

業績予想(通期)	…14
サービス別売上高予想(通期)	…15
業績予想(半期別)	…16
サービス別売上高予想(半期別)	…17
お問い合わせ	…18

# 課題と事業展開

## 課題

### ①利益成長

安定成長の基盤は構築できたが、利益の伸長は緩やかであり、短期間で大きな成長を見込むのが難しい

### ②ユーザーニーズの多様化

ニーズの高度化・多様化に対応したソリューションも提供していかないと、市場競争力を失う可能性がある

## 事業展開

企業規模を拡大し、短期間でストック売上を大幅に積上げることで、大きな利益成長を目指すために、5つの取組みを推進

新サービスの  
立上げ

業種特化型の  
取組みの強化

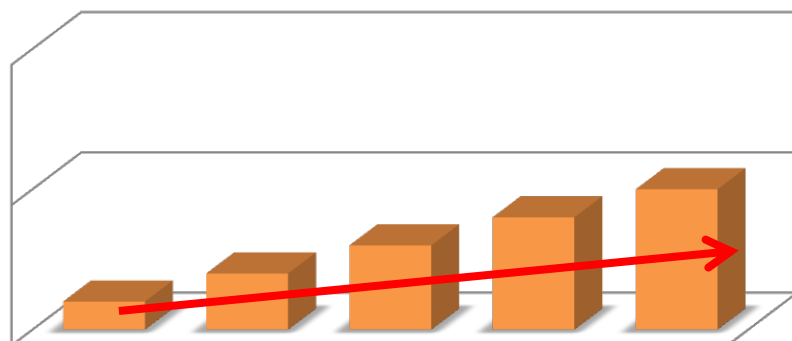
商材・サービスの  
ラインナップの拡充

営業稼働人員の  
大幅な増員

HPソリューション  
サービスの拡大

# 目指すべきビジネスモデル

## 現在のストック型ビジネス

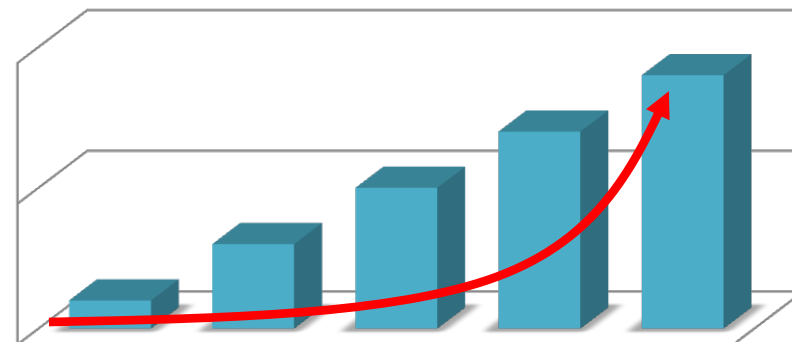


1ヶ月 2ヶ月 3ヶ月 4ヶ月 5ヶ月

■ ストック型収入

利益が緩やかに伸長

## 目指すべきストック型ビジネス



1ヶ月 2ヶ月 3ヶ月 4ヶ月 5ヶ月

■ ストック型収入

短期間での大きな成長

## ストック型ビジネスの特徴

開始時は、保有顧客アカウント数が少なく、ストック売上が少額となるため、費用が先行し、短期的に赤字となるが、その後は、保有顧客アカウント数の増加によるストック売上の成長にあわせ、安定的に利益を確保することができるモデル。

# 損益計算書

大規模な積極投資の推進に伴い、売上高は大幅に増加したものの、**営業利益以下の各区分利益において損失を計上**

【単位:百万円】	H26.3 通期累計	売上比	H27.3 通期累計	売上比	対前期 増減率	対前期 差額
売上高	4,745	100.0%	5,996	100.0%	+26.4%	+1,250
売上原価	1,133	23.9%	1,821	30.4%	+60.7%	+687
売上総利益	3,612	76.1%	4,174	69.6%	+15.6%	+562
販管費	3,597	75.8%	6,735	112.3%	+87.2%	+3,138
営業利益(△損失)	14	0.3%	△2,560	△42.7%	—	△2,575
経常利益(△損失)	29	0.6%	△2,609	△43.5%	—	△2,638
当期純利益(△純損失)	8	0.2%	△2,725	△45.5%	—	△2,734

- » 新主力サービスであるシステム・メディアソリューションの本格立ち上げ等により、**売上高が26.4%増加**
- » 費用が先行する新主力サービスの立ち上げ等の推進により、**販管費が87.2%増加**
- » 結果、**営業利益以下の各区分利益において損失を計上**

# サービス別売上高

HPソリューションは、**堅調に推移**  
システム・メディアソリューションは、本格立ち上げに伴い、**大幅に増加**

【単位:百万円】	H26.3 通期累計	構成比	H27.3 通期累計	構成比	対前期 増減率	対前期 増減額
HPソリューション	4,619	97.3%	4,837	80.7%	+4.7%	+219
ストック売上	1,528	32.2%	1,691	28.2%	+10.7%	+162
フロー売上	3,090	65.1%	3,146	52.5%	+1.8%	+56
システム・メディアソリューション	126	2.7%	1,158	19.3%	+814.0%	+1,031
ストック売上	61	1.3%	352	5.9%	+474.1%	+290
フロー売上	65	1.4%	806	13.4%	+1133.1%	+740
売上高	4,745	100.0%	5,996	100.0%	+26.4%	+1,250

※1:HP(ホームページ)ソリューションは、旧商材ITパッケージと新商材クラウドパッケージの他、ヤフー商材、WEB広告、WEB制作等の売上高を示します。

※2:システム・メディアソリューションは、ポータルサイトの運営・広告掲載、予約・顧客管理システム等の売上高を示します。

※3:ストック売上は、サービス料(月額課金)の売上高を、フロー売上は、初期導入費用(導入初月に一括計上)の売上高を示します。

- » HPソリューションは、ストック売上とフロー売上がともに堅調に推移し、**前期比で4.7%増加**
- » システム・メディアソリューションは、本格立ち上げに伴い、**大幅に増加**
- » 結果、**売上高は26.4%増加**

# 営業費用

売上高の増加に伴い、**売上原価が増加**  
 営業稼働人員の大幅な増員等の影響により、**販管費が大幅に増加**

【単位:百万円】	H26.3 通期累計	売上比	H27.3 通期累計	売上比	対前期 増減率	対前期 差額
売上原価	1,133	23.9%	1,821	30.4%	+60.7%	+687
人件費	2,174	45.8%	3,904	65.1%	+79.6%	+1,730
地代家賃	245	5.2%	369	6.2%	+50.5%	+123
旅費交通費	248	5.2%	443	7.4%	+78.6%	+195
その他販管費	929	19.6%	2,018	33.7%	+117.2%	+1,089
販管費	3,597	75.8%	6,735	112.3%	+87.2%	+3,138
営業費用	4,730	99.7%	8,557	142.7%	+80.9%	+3,826

- » システム・メディアソリューションの本格立ち上げに伴う営業稼働人員の大幅な増員の影響等により、**販管費が87.2%増加**
- » 結果、売上高の増加に伴い、売上原価も増加したため、**営業費用は80.9%増加**

# 損益計算書(四半期推移)

売上高は増加したものの、損失額はほぼ横ばい

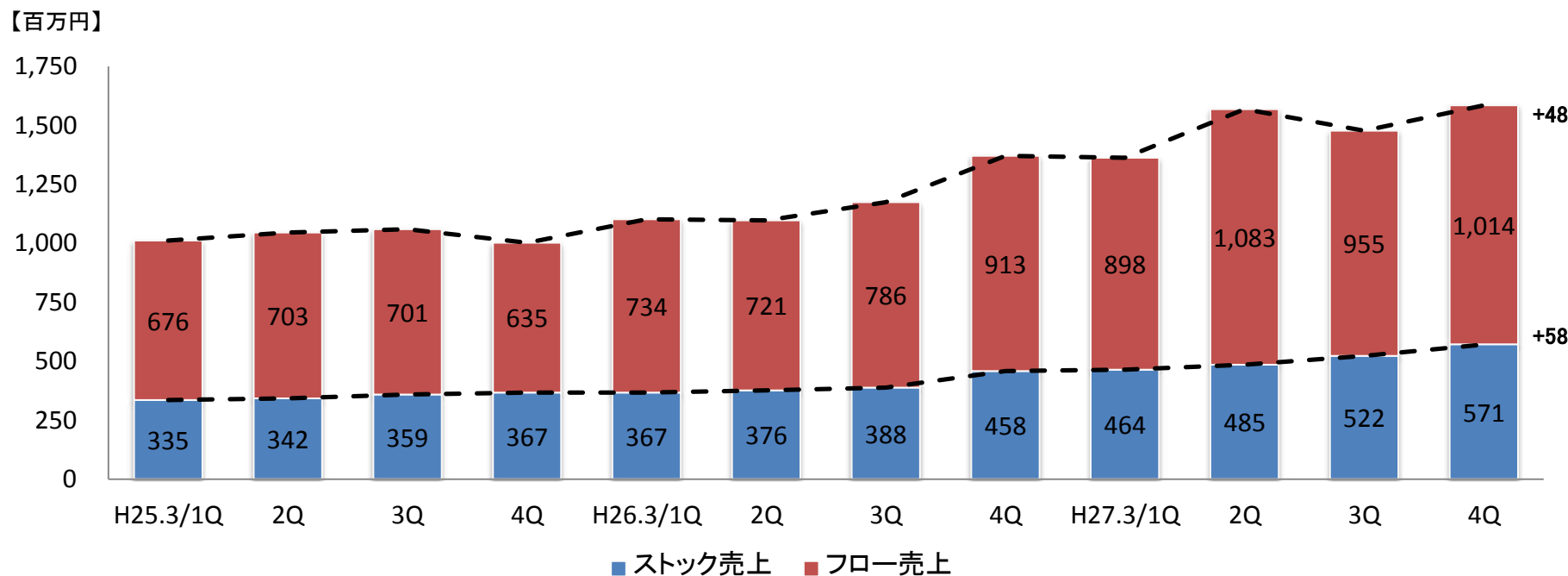
【百万円】





# サービス別売上高(四半期推移)

保有顧客アカウント数の増加に伴い、**ストック売上が増加**  
一時的な収入の計上等により、**フロー売上也増加**



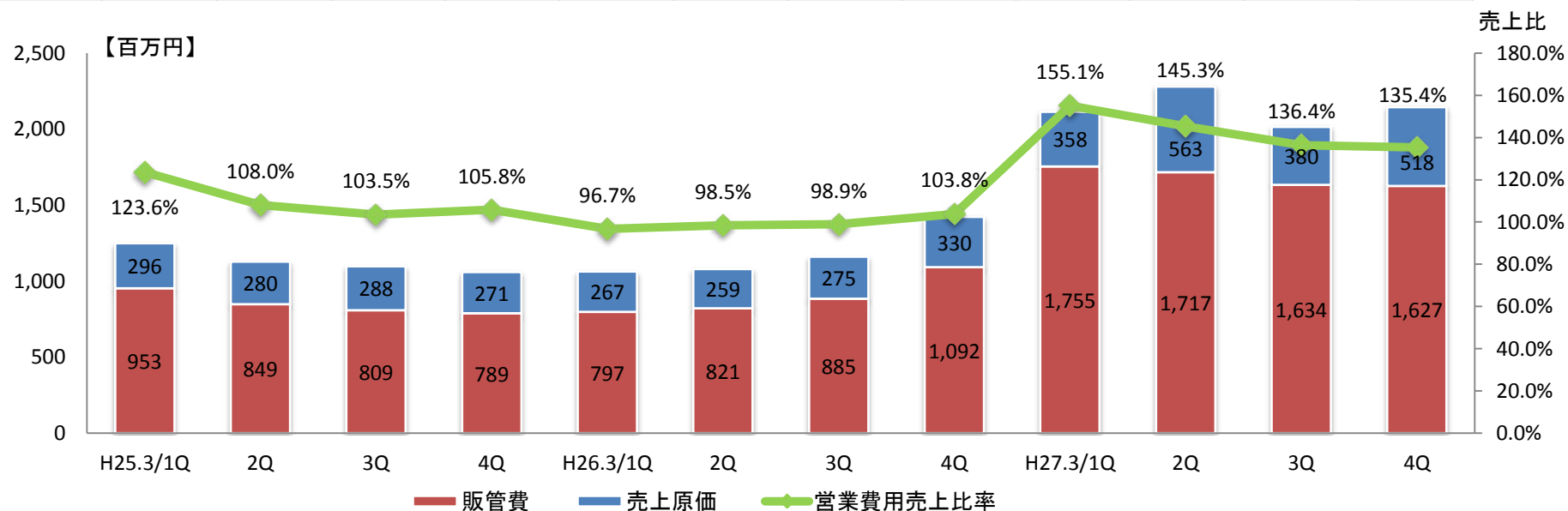
## 第4四半期の状況 (前四半期比較)

- » 保有顧客アカウント数の増加等に伴い、**ストック売上が増加**
- » システム・メディアソリューションにおいて一時的な収入があったこと等に伴い、**フロー売上也増加**
- » 結果、**売上高は増加**

# 営業費用(四半期推移)

売上原価の増加に伴い、**営業費用が増加**

営業費用	1,250	1,129	1,098	1,060	1,064	1,080	1,161	1,423	2,113	2,280	2,016	2,146
売上比	123.6%	108.0%	103.5%	105.8%	96.7%	98.5%	98.9%	103.8%	155.1%	145.3%	136.4%	135.4%



第4半期の状況（前四半期比較）

- » 売上高の増加等に伴い、**売上原価が36.2%増加**
- » 結果、販管費はほぼ横ばいであったため、**営業費用は6.4%増加**

# 貸借対照表

**資産と負債が増加し、大規模な積極投資の推進により、純資産は減少**

【単位:百万円】	H26.3末	構成比	H27.3末	構成比	対前期末 増減率	対前期末 差額
流動資産	2,033	57.7%	2,899	57.0%	+42.6%	+866
固定資産	1,487	42.3%	2,184	43.0%	+46.8%	+696
<b>資産 合計</b>	<b>3,520</b>	<b>100.0%</b>	<b>5,084</b>	<b>100.0%</b>	<b>+44.4%</b>	<b>+1,563</b>
流動負債	937	26.6%	2,137	42.1%	+128.0%	+1,200
固定負債	403	11.5%	1,478	29.1%	+266.1%	+1,074
<b>負債 合計</b>	<b>1,341</b>	<b>38.1%</b>	<b>3,616</b>	<b>71.1%</b>	<b>+169.6%</b>	<b>+2,275</b>
純資産 合計	2,179	61.9%	1,467	28.9%	△32.7%	△712
<b>負債・純資産 合計</b>	<b>3,520</b>	<b>100.0%</b>	<b>5,084</b>	<b>100.0%</b>	<b>+44.4%</b>	<b>+1,563</b>

- » 現金及び預金や売掛金の増加等により、**流動資産が増加**
- » 商材・サービスの開発推進によるソフトウェアの増加や投資有価証券の増加等により、**固定資産も増加**
- » 1年内返済予定の長期借入金、1年内償還予定の社債や未払金の増加等により、**流動負債が増加**
- » 長期借入の実行等により、**固定負債も増加**
- » 当期純損失の計上による利益剰余金の減少等により、**純資産は減少**

# キャッシュ・フロー

フリーCFはマイナスとなったものの、財務CFのプラスにより、**現金及び現金同等物が増加**

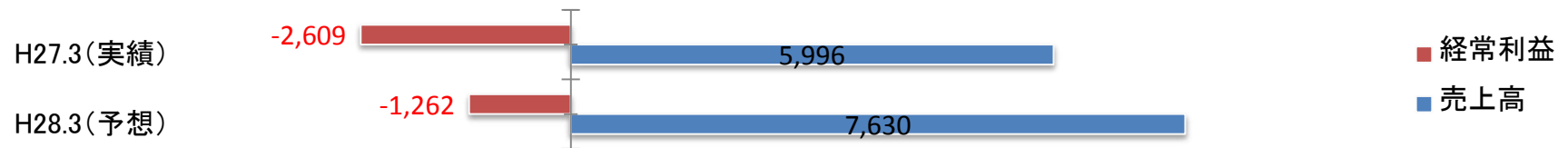
【単位:百万円】	H26.3 通期累計	H27.3 通期累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	125	△2,072
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220	△1,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	23	3,854
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△71	765
現金及び現金同等物の期末残高	1,252	2,017

- » 積極投資の推進による税金等調整前当期純損失の計上等により、**営業CFはマイナス**
- » 商材・サービスの開発推進による無形固定資産の取得や投資有価証券の取得等により、**投資CFはマイナス**
- » 長期借入による収入や株式の発行による収入等により、**財務CFはプラス**
- » 結果、財務CFのプラスにより、**現金及び現金同等物の期末残高は増加**

# 平成28年3月期 連結業績予想

## 業績予想(通期)

【単位:百万円】	H27.3通期 (実績)	売上比	H28.3通期 (予想)	売上比	対前期 増減率	対前期 増減額
売上高	5,996	100.0%	7,630	100.0%	+27.3%	+1,634
営業費用	8,557	142.7%	8,796	115.3%	+2.8%	+239
営業利益(△損失)	△2,560	△42.7%	△1,166	△15.3%	—	+1,394
経常利益(△損失)	△2,609	△43.5%	△1,262	△16.5%	—	+1,346
親会社株主に帰属する 当期純利益(△純損失)	△2,719	△45.4%	△1,294	△17.0%	—	+1,425



## 通期の予想 (H27.3期比較)

- » 保有顧客アカウント数の積上がりに伴うストック売上の増加等により、**売上高は27.3%増加の見込み**
- » 投資対効果の高い事業に絞った積極投資の推進により、**営業費用は2.8%の増加にとどまる見込み**
- » 結果、**営業利益以下の各区分利益が大幅に改善する見通し**

# サービス別売上高予想(通期)

【単位:百万円】	H27.3通期 (実績)	構成比	H28.3通期 (予想)	構成比	対前期 増減率	対前期 増減額
HPソリューション	4,837	80.7%	5,477	71.8%	+13.2%	+639
ストック売上	1,691	28.2%	2,005	26.3%	+18.6%	+314
フロア売上	3,146	52.5%	3,471	45.5%	+10.4%	+325
システム・メディアソリューション	1,158	19.3%	2,152	28.2%	+85.9%	+994
ストック売上	352	5.9%	835	11.0%	+137.3%	+483
フロア売上	806	13.4%	1,316	17.3%	+63.4%	+510
売上高	5,996	100.0%	7,630	100.0%	+27.3%	+1,634

## 業績予想(半期別)

【単位:百万円】	H28.3上期 (予想)	売上比	対前期 増減率	H28.3下期 (予想)	売上比	対前期 増減率
売上高	3,386	100.0%	+15.5%	4,244	100.0%	+38.5%
営業費用	4,401	130.0%	+0.2%	4,394	103.6%	+5.6%
営業利益(△損失)	△1,015	△30.0%	—	△150	△3.6%	—
経常利益(△損失)	△1,055	△31.2%	—	△206	△4.9%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益(△純損失)	△1,071	△31.7%	—	△222	△5.2%	—



# サービス別売上高予想(半期別)

【単位:百万円】	H28.3上期 (予想)	構成比	対前期 増減率	H28.3下期 (予想)	構成比	対前期 増減率
HPソリューション	2,628	77.6%	+10.2%	2,849	67.1%	+16.2%
ストック売上	975	28.8%	+19.0%	1,029	24.3%	+18.2%
フロア売上	1,652	48.8%	+5.5%	1,819	42.9%	+15.1%
システム・メディアソリューション	757	22.4%	+38.8%	1,394	32.9%	+127.9%
ストック売上	233	6.9%	+80.2%	602	14.2%	+170.4%
フロア売上	524	15.5%	+25.9%	792	18.7%	+103.5%
売上高	3,386	100.0%	+15.5%	4,244	100.0%	+38.5%

### お問い合わせ先

株式会社アイフラッグ 管理本部 管理部 (IR担当)

Tel 03-5733-4492

Mail [ir@iflag.co.jp](mailto:ir@iflag.co.jp)

### IRインフォメーション

株式会社アイフラッグ IRページ

<http://www.iflag.co.jp/ir.html>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が入手している情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により、本資料に記載されている情報と大きく異なる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられる情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料の業績見通し等のみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製、または転送等を行われぬようお願いいたします。